

ギャビン・バントック名誉教授寄贈の英語劇シナリオを展示 夏の図書館特別展示「シェイクスピア」 7月4日(火)12:30～ 寄贈記念イベント開催

麗澤大学(千葉県柏市/学長：徳永澄憲)で1937年から続いている「麗澤大学英語劇グループ」に50年以上携わっているギャビン・バントック名誉教授が書き下ろしたシェイクスピア作品の舞台シナリオ全35巻からなる著書『Shakespeare for Student Actors』が、本学図書館に寄贈されました。これに伴い、7月4日(火)に寄贈記念イベントを図書館内特設展示スペースにて開催します。



▲ギャビン・バントック名誉教授
(現在準備中の特設展示スペースにて)



▲寄贈された『Shakespeare for Student Actors』の一部
表紙は、各シナリオを基に上映された英語劇作品の名場面

「麗澤大学英語劇グループ」(以下、英語劇グループ)は、本学の前身である「道徳科学専攻塾」で1937年に行われた英語会に起源をもつ、伝統ある団体です。英語劇では、正しい文法や発音、イントネーションが身につくだけでなく、ジェスチャーなどを加えて体全体で感情を表現する為、教科書だけでは学べない本物の英語力を磨くことができます。

ギャビン・バントック名誉教授は、この英語劇グループや卒業生劇団「FESTE」などで日本人の英語劇の演出に関わり続け、シェイクスピア作品については、全作を舞台演出してきました。その際、全ての戯曲の翻案も行ない、作品を象徴する有名なセリフを除いて現代的な表現にあらためてシナリオを作成してきました。そのシナリオをまとめたものが今回寄贈された『Shakespeare for Student Actors』です。全35巻は、本学図書館内特別展示スペースにて7月4日(火)から9月21日(木)までシェイクスピアに関する貴重書籍と併せて展示された後、図書館で閲覧できるようになります。

今回行われる寄贈記念イベントでは、ギャビン・バントック名誉教授による詩や戯曲の朗読の他、英語劇グループの学生・卒業生による寸劇を行います。

図書館館長の黒須里美(くろすさとみ)教授は、「本学図書館は、和書・洋書・中国書を含むシェイクスピア関連の図書998冊を所蔵しています。今回の寄贈によって蔵書の価値は一層高まることでしょう。現在図書館は、卒業生の皆様、一般の皆様にもご利用いただけます。ぜひ足を運んでいただき、これらの貴重な図書の魅力に触れていただければ幸いです。」とコメントしています。

【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。「知徳一体」という教育理念のもと、心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指し、教育改革を進めています。「THE 日本大学ランキング」の国際性分野では2017年から連続して千葉県1位の評価を受けています。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学大学入試・広報課 担当：阿部

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

Email: pr@reitaku-u.ac.jp

TEL: 04-7173-3136

FAX: 04-7173-3585

大学公式サイト: <https://www.reitaku-u.ac.jp>